

第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）「5 つの柱ごとの目標」の令和 4 年度実績及び市域の温室効果ガス排出量について

（1）第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）「5 つの柱ごとの目標」の令和 4 年度実績

柱		2021 年度 実績	2022 年度 実績	方向	2030 年度 目標
柱 1 地球温暖化対策を推進するための基盤の構築					
	市内で行われる環境セミナーなど環境学習の参加者数	328 人	2,637 人	↗	5,000 人
	たからっ子エコライフノートのエコライフ診断件数	—	312 件	↗	2,000 件
柱 2 エコなライフスタイル・事業活動の実現					
	一人当たりの温室効果ガス(CO ₂ 換算)排出量	2.72t-CO ₂	2.53t-CO ₂ ※2021 年度確報値	↘	1.9t-CO ₂
	オフィス・店舗等での温室効果ガス(CO ₂ 換算)排出量	144 千 t-CO ₂	125 千 t-CO ₂ ※2021 年度確報値	↘	89 千 t-CO ₂
柱 3 地域環境の整備・向上					
	公共輸送人員の人口比	0.74 ※2019 年度実績値	0.74 ※2019 年度実績値	↗	0.74 以上
	充電スタンド件数	22 件	23 件	↗	100 件
柱 4 再生可能エネルギーの利用の推進					
	再生可能エネルギー電気自給率(家庭部門)	4.0%	4.3% ※2021 年度速報値	↗	25%
	再生可能エネルギー電気活用率(家庭・業務・産業部門)	14.3%	15.4% ※2021 年度速報値	↗	50%
柱 5 環境への負荷を低減する循環型社会の形成					
	燃やすごみ量(家庭系及び事業系ごみ)	47,426t	46,564t	↘	47,426t 未満※1
	資源化率	30.3%	29.7%	↗	32.9%※1

※1 これらの目標値は、2023 年度（令和 5 年度）に予定する宝塚市一般廃棄物処理基本計画の改定に合わせて、修正することとします。

(2) 市域の温室効果ガス排出量について

ア) 全体傾向

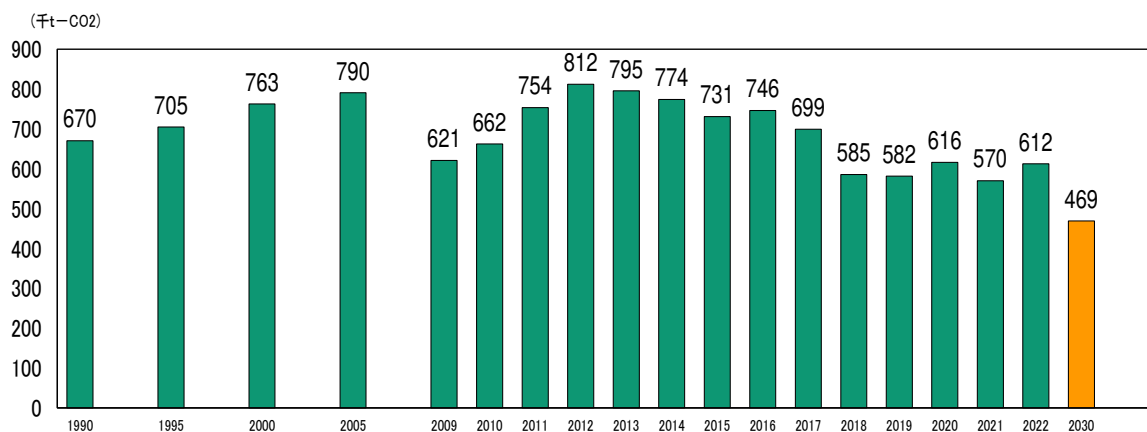
2014 年度以降、エネルギー消費の減少（省エネ等）、電力の低炭素化（再エネ拡大、原発再稼働等）によって排出量は減少傾向。

イ) 2020 年度実績 616 千 t-CO₂

電力の排出係数の増加や、新型コロナウイルスの感染拡大による、外出自粛等で家庭での電力の需要増加により、対前年度比で排出量が増加した。

ウ) 2021 年度実績 570 千 t-CO₂

前年度と比べて、①新型コロナウイルスの影響が薄くなり、産業でのエネルギー消費量が増加し、また、②冬季の気温が低くなったことにより、エアコン消費量増で家庭・病院・店舗での電力需要が高まったが、電力の電力排出係数が減少し、全体の排出量も減少した。



宝塚市内の温室効果ガス排出量の推移

部門別の温室効果ガス排出量

	1 9 9 0 年 度 (基準年度)	2 0 2 0 年 度	2 0 2 1 年 度
産業部門	192	51	50
民生家庭部門	175	249	223
民生業務部門	125	144	125
運輸部門	142	148	146
廃棄物	26	17	18
その他ガス	11	8	8
計	670	616	570